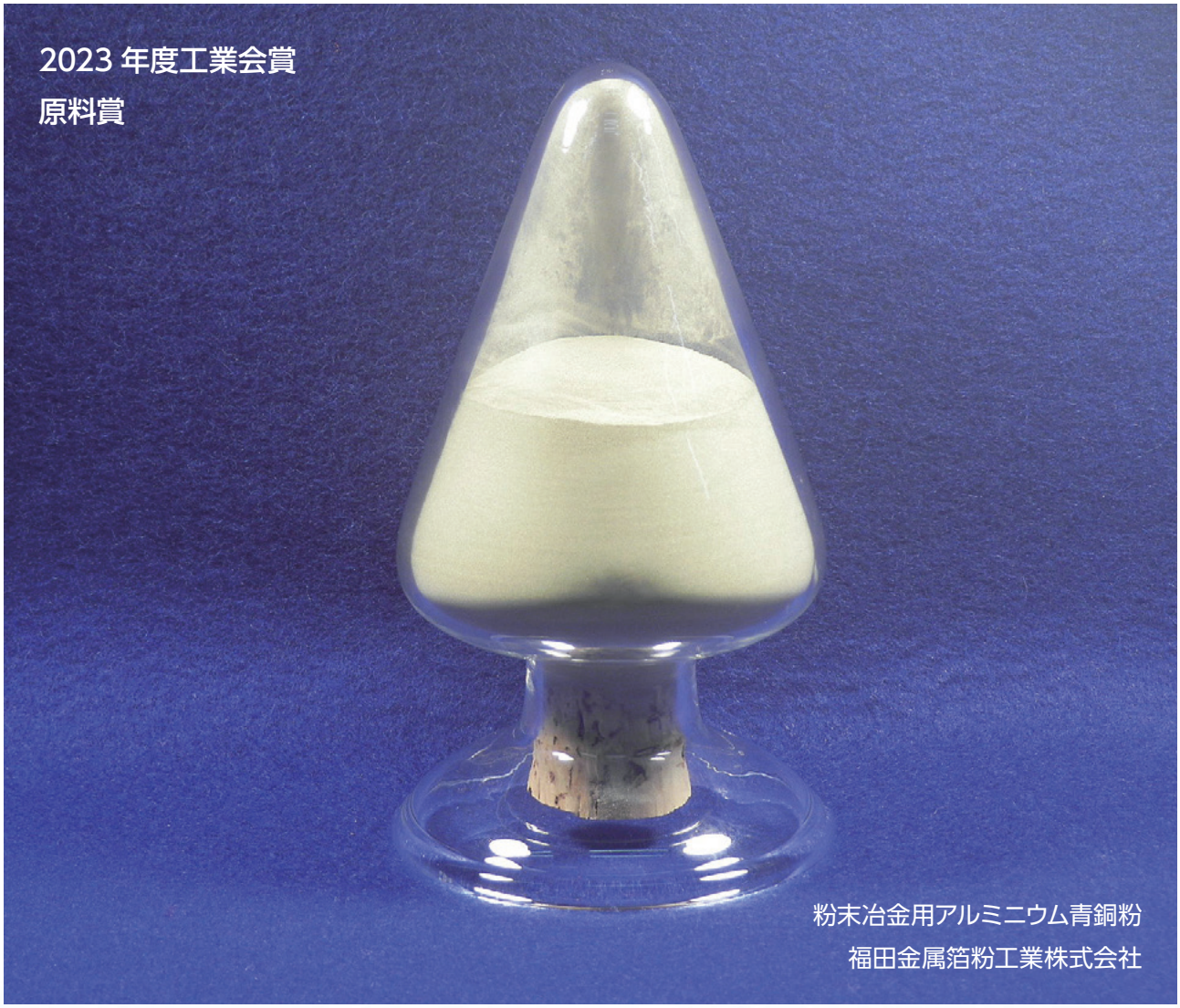
粉末冶金

第419号

2024 7

JPMA NEWS

Make a better world with PM



日本粉末冶金工業会

会長就任のご挨拶

会　長
園田　修三
福田金属箔粉工業株式会社
代表取締役社長

この度、5 月 24 日の定時総会（P11 参照）におきまして皆様のご推挙をいただき、会長に就任することになりました。伝統ある日本粉末冶金工業会の会長という大役を仰せつかり、大変光栄に存じますと共に、その責任の重さを痛感しているところです。この重責をしっかり果たすことができますよう、力を尽くしてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、世界経済は、米国経済の強さと中国経済の成長率上方修正などを背景に、大幅な減速を回避し、緩やかな成長軌道を確保していると報じられる一方、長期化するロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・ガサ戦争、緊張が続く米中対立など、先行き不透明感が拭えないところです。

また、日本経済は、新型コロナウイルスが出現した 2020 年には、実質 GDP 実額で 529.6 兆円、成長率は前年比 4.1％減と大きく落ち込みましたが、その後 3 年連続でプラス成長を続け、2023 年は 558.7 兆円と過去最高を記録しています。しかしこれも、ようやく 2018 年の 554.8 兆円に追いついたに過ぎない状況です。

さらに、2024 年は一部自動車メーカーの生産・出荷停止や能登半島地震などが下押し要因となり、2024 年 1 ～ 3 月期の実質 GDP 成長率は前期比年率 1.8％減と 2 四半期ぶりのマイナス成長となっています。

このような状況下、2023 年の日本のドル建て名目 GDP は、円安の影響もあり、ドイツに抜かれ、世界 4 位に後退しました。高度成長期の 1968 年に西ドイツ（当時）を抜き米国に次ぐ 2 位となりましたが、2010 年に中国に抜かれて 3 位に転落、さらに 2025 年にはインドに抜かれ世界 5 位になる見通しとなっています。もちろん、いたずらに順位にこだわったり悲観したりする必要はありません。しかし、人口 14 億人を超える中国に抜かれることは仕方ないにしても、日本 1 億 2430 万人に対しドイツは 8480 万人であり、約 1.5 倍の人口を擁しながらドイツに抜かれることは問題ありと感じます。

資源の乏しい日本は、技術力を伸ばして「ものづくり」を進化させる必要がありますが、昨今の理系離れ、研究力・技術力の低下には大きな危機感を覚えざるを得ません。私たちの粉末冶金業界も厳しい環境下にあり、とりわけ日本の基幹産業であり私たちの主要取引先である自動車業界は 100 年に一度の大変革の時代といわれます。

ダーウィンの進化論に「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き残るのでもない。唯一生き残ることができるのは変化できるものである」とありますように、先行きを見通すことが困難で、変化の激しい現代においては、さまざまな環境の変化にも柔軟に適応していくことが肝要であり、既成概念や先入観にとらわれず、柔軟な頭と心で物事に向き合っていくことが大切であると改めて感じているところです。JPMA としましても、当然コンプライアンス指針に則った上で、各社皆様の知恵を結集して技術力を高め、さまざまな変化に対応して、人材の獲得・育成やビジネスチャンスを広げる活動をしていきたいと考えています。

また、本年 10 月 13 日より、いよいよ WORLD PM2024 YOKOHAMA が開催されます。12 年ぶりに日本で開催されるこの国際会議は、粉末冶金製品メーカー、原料粉末メーカー、設備メーカー、商社など、産業界と学会から多くの方々が集まります。本開催を通して、粉末冶金の魅力をアピールし、日本のみならず、粉末冶金業界の世界的発展に貢献できればと思います。そのためにも皆様には積極的に参加いただき、熱い議論を通して大会を大いに盛り上げていただきたいと思います。そして参加して良かったと心から言ってもらえる大会にすべく、総力を結集し万全を期していきたいと思います。

最後になりますが、皆様方のご指導・ご支援を賜りながら、粉末冶金業界の持続的発展に貢献できますよう全力で取り組んでまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

Essay

新しい時代に向けた共想と共創

常任理事
井上　慎太郎
［住友電気工業株式会社
焼結製品事業部事業部長］

住友電気工業株式会社　焼結製品事業部の井上です。平素、皆様にはたいへんお世話になっております。

はじめに自己紹介をさせていただきますと、1996 年、住友電工に入社して以降 15 年間、人事部門に従事してきました。とりわけ、事業のグローバル化を支える組織・人材のあり方を考え、その支援体制づくりと仕組みづくりに多くの時間を割いてきました。その後、経営企画部門に異動し、全社の中期経営計画のとりまとめや新規事業支援に携わる過程で、医療機器・ヘルスケア事業の立ち上げの責任者に就き、事業化を推進しました。残念ながらコロナ禍により思うように事業が立ち上がらず、わずか 5 年で撤退を余儀なくされましたが、いまでも、そのときの製品が世の中で使われていることを嬉しく思います。

さて、住友電工の焼結製品事業に参画させて頂くことになったのが 2022 年 8 月なのですが、ちょうど直前にコロナに感染し、異動初日をベッドで迎え、そのまま夏季休暇に入るというお恥ずかしいスタートとなりました。以降、体調管理に万全を期すべく、予防を心掛けるようにしています。

そんな私の、焼結製品に対する第一印象は、金属粉末で複雑形状品が大量生産できることへの単純な驚きでした。それは、先人たちが切磋琢磨してきた技術革新によって到達した成果だと思うのですが、つくづく日本の製造業のすごさを思い知らされたことを覚えています。

しかしながら、その後すぐに、「100 年に一度の大変革」と言われる産業構造変化の大きなうねりの中で、私たちの部門は、進むべき道を探り、選択しなければならない岐路に立たされていることを知ります。

2023 年 4 月、責任者に就任して以降、体質強化に向けて構造改革を推し進めると同時に、次世代への布石を打つため、多岐にプロジェクトを立ち上げていますが、とにかく先行きが見通せない難しさに頭を悩ませています。

未来の社会とはどういうものなのでしょう。

小説や映画においては、実に色々な未来社会が描かれてきました。ブレードランナー、バックトゥザフューチャー、マトリックス、アバター、、、言い出したらキリがありませんが、既に到来したもの、これから現れるもの、現実は様々ですが、人それぞれでオルタナティブなものであってよいと思います。

重要なことは、その未来社会の中心にいる若い世代の方々が、あるいは、若い世代のために、ともに想いを馳せ（共想）、ともにつくり上げていく（共創）ことだと私は考えます。

不易流行－これまで培っていたものを維持しながら、新しいことに挑戦すること－は、一朝一夕でできることではありませんが、挑戦なくして発展はありません。

自社のパーパス、ビジョンを大切にしながら、Passion（情熱）と Will（意思）をもって一人ひとりが、そして、チームが行動してくれることを常々期待していますが、挑戦し続ける風土、人材をつくっていくためには、私たちは、若い世代に叱咤、トレースするだけでなく、“Don’t be afraid to fail”、“How can we support you?”と語りかけていくことが必要なのではないでしょうか。ただ、某社のコマーシャルではありませんが、リーダーは「結果にコミットする」ことが求められているので、なかなか余裕がないのも事実なのですが…（苦笑）

最後になりますが、住友電工グループ 2030 ビジョン・中期経営計画 2025 の原点に、住友事業精神を根幹とした「五方よし」という考え方を据えました。五方とは、従業員、顧客、取引先、地域社会、株主・投資家です。生き残りをかけた戦いに晒されている日々ではありますが、各社の皆様と、粉末冶金業界、そして、社会の発展に貢献していきたいと思いますので、今後も引き続きよろしくお願い致します。

告知板

入会

賛助会員（4 月 1 日）

Osterwalder Japan 株式会社

優良従業員表彰候補者推薦募集（会員限定）

2024 年度日本粉末冶金工業会優良従業員表彰候補者推薦受付を開始しました。期限は 8 月 2 日(金) です。

本表彰は、粉末冶金関係の製造現場で、多年にわたり、当業界の発展に貢献された方を表彰し、製造現場の方の勤務の励みにすることを目的にしたものです。1995 年度に発足し、推薦は正会員に限定されます。昨年度は 9 社から 11 名の方が受賞されました。今年度も多数のご推薦をお願いいたします。

詳細推薦要領は、7 月初旬に発送しております推薦案内をご覧下さい。

2023 年度　優良従業員表彰
会長、常任理事、専務理事（前列）と受賞者の方々

2023 年度工業会年報発行（会員、非会員、一般）

「2023 年度日本粉末冶金工業会年報」を 7 月 16 日に発行しました。A4 版 36 頁。

本年報には、2023 年度の生産状況（粉末冶金製品・原料粉末）、海外進出状況、世界の生産状況、工業会の動き、工業会各賞、協賛広告等を掲載しています。

会員及び教育機関、需要家当に幅広く配布いたしておりますが、社内、販売代理店当の教育資料としても是非ご活用下さい。なお、一般の方もご購入いただけます。詳細は工業会 Website の発行冊子申込をご確認下さい。

工業会 Website 掲載情報更新受付中（会員限定）

工業会 Website の定期更新情報提供の受付を開始しました。本案内は、工業会 Website に新しい情報を織り込んで、その充実化を目指しております。各社 PR にお役立ていただけるコンテンツもございますので、情報を提供いただきますようお願いいたします。提出期限は 8 月 30 日 (金) です。詳細は事務局 (info@jpma.gr.jp) までご連絡下さい。

・会員一覧・・・会員一覧から各社 Website にリンクします。(リンク先の変更があれば提示下さい。)
・会員各社最新情報・・・新製品（用途、技術含む）を社名入りで紹介いたします。
・こんなところに粉末冶金・・・一般の方が粉末冶金に興味を持っていただくことを目的に製品を紹介しています。
・VA 事例・・・粉末冶金採用拡大を目的に VA 事例を紹介しています。
・就活サポート・・・各社の就活情報を紹介します。

WORLD PM2024YOKOHAMA　早期登録締切 9 月 2 日（会員・非会員・一般）

WORLD PM2024 13-17 October 2024 YOKOHAMA, JAPAN
Powder Metallurgy World Congress & Exhibition
"Make a better world with PM"　WORLD PM2024 in YOKOHAMA, JAPAN

10 月 13 日から 17 日までパシフィコ横浜で開催する「WORLD PM2024 粉末冶金国際会議」は、技術論文発表及び展示会を開催します。

論文募集は昨年 1 月に申し込みを締め切り、招待講演 33 件を含め 420 件の申込がありました。展示会につきましては 5 月末で応募を締切り、100 社 140 小間（無料 3 小間を含む）の申込をいただき、お陰様で目標を達成することができました。会員各位のご協力に感謝申し上げます。

一方、会議参加登録は 4 月から WORLD PM2024website からオンラインシステムによる申込受付を開始しております。オンライン登録では会議参加登録以外に同伴者登録、宿泊、ツアー等の申込を行うことができます。

参加登録費は、登録区分により異なります。また、割引料金期間（9 月 2 日まで）を設けております。9 月 3 日以降にお申込みの場合は、割引料金適用外となりますので、是非お早めのご登録をお勧めいたします。

当会会員会議登録者数の目標を 220 名に設定しておりますので、会員各位のご協力をお願い申し上げます。

分　類	早期登録 2 Apr. 2024 to 2 Sep. 2024	後期登録 3 Sep. to 12 Oct. 2024	当日登録 13 Oct. 2024 to 17 Oct. 2024
発表者／座長	125,000 JPY	150,000 JPY	165,000 JPY
JPMA/JSPM 会員	170,000 JPY	204,000 JPY	224,400 JPY
一　般	190,000 JPY	228,000 JPY	250,800 JPY
学　生	15,000 JPY	18,000 JPY	19,800 JPY

本会議のスケジュール詳細は、WORLD PM2024website の Congress Information をご確認下さい。また、JPMA 主催行事として 10 月 15 日（火）に展示会場「特設ステージ」で、過去 5 年の工業会賞、効率化事例の中から選定した 9 件（工業会賞 4 件、効率化事例 5 件）を紹介いたします。本行事は他の地域の粉末冶金国際会議にはない独自イベントであり、どなたでも聴講いただけますので、是非ご予定下さい。

◇工業会賞紹介　14：00 ～ 15：20

二輪車トランスミッション用焼結部品　㈱ダイヤメット
2 個同時成形でネットシエイプ実現した複雑多段形状のパーキング部品　住友電気工業㈱
密度勾配付与により耐摩耗性に優れる焼結含油軸受　ポーライト㈱
高周波＆高強度リアクトルコアの実用化　㈱ファインシンター／大同特殊鋼㈱

◇環境・省エネ事例　15：30 ～ 17：10

イグニッションコイル用圧粉コアのタッチレス一貫生産ライン構築　住友電気工業㈱
電動 VCT 偏心軸部品の生産性向上　㈱ファインシンター
粉末成形金型　面加工の効率化　NTN アドバンストマテリアル㈱
異形状焼結部品の外観検査、防錆油塗布、パック詰め自動ライン構築　㈱ダイヤメット
切削加工工程の品質改善活動　ポーライト㈱

広告

DS シリーズ

Debind & Sinter（脱脂&焼結）

75年の歴史を持つIpsenが自信を持ってリリースする

真空脱脂焼結炉「DSシリーズ」

DSシリーズは粉末冶金の発展に貢献します。
多数の販売実績を持ち、定評ある標準規格炉 " TITAN " のプラットフォームを採用し、省スペース化を実現。革新的なバインダー除去技術で、炉内のクリーン化とサイクル間のメンテナンス時間を大幅に短縮します。
短期間で据付設置できるスキッドマウントシステムを採用。パソコンによる制御システムは多言語をサポート。リアルタイムにデータ収集／保存し、最大1000個の熱処理レシピをいつでも使用できます。サイクルコストを最小限に抑えながら生産性と製造効率を向上させ、収益性と処理時間を改善させる事が可能です。

メリット

真空脱脂（第2段階）と焼結を一つのサイクルで行うことで、時間とコストを削減できるだけでなく、優れた製品の品質が実現できます。

- 処理時間の短縮
- プロセス品質の向上
- 汚染の最小化
- ユーザーフレンドリーな操作画面
- 記録した処理ログをいつでも選択可

特 徴

- 選べる2つのモデル
  標準モデル or カスタマイズモデル
- 世界各地へお届け可能
- 2種類の有効寸法:
  18 w x 18 h x 24 l インチ (457 x 457 x 610 mm)
  36 w x 36 h x 48 l インチ (914 x 914 x 1219 mm)
- 通常使用温度: 2550° F (1400℃)
  オプション: 3000° F (1650℃)
- オプションの高真空ポンプシステム
  (範囲:10^{-3} ～ 10^{-6} Torr)

2024年
10月13～17日
粉末冶金国際会議
WORLD PM2024
出展予定!!

◆製品に関する詳細やご質問等ありましたらお気軽に下記までお問合せ下さい

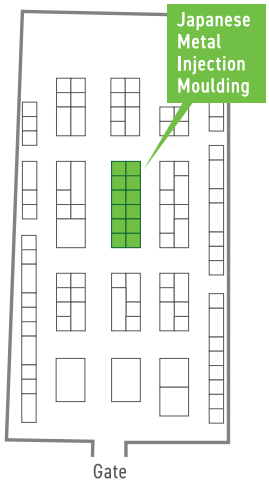
Ipsen株式会社　〒538-0032　大阪府大阪市鶴見区安田2－3－2
TEL: 06-7506-9705　FAX: 06-6915-1132　IpsenGlobal.com / sales-jp@ipsen.co.jp

Japanese Metal Injection Moulding

The joint exhibition will feature 14 distinctive domestic MIM-related companies exhibiting under the concept of "each company's core competence".

Our exhibition booth is located at “3-07”

We are really looking forward to seeing you.



atect
日本ピストンリング株式会社 NIPPON PISTON RING CO.,LTD.
IWAKI DIECAST CO.,LTD.
オリエンタルチエン工業株式会社 ORIENTAL CHAIN MFG.CO.,LTD.
大阪冶金興業株式会社 Osaka Yakin Kogyo Co., Ltd.
TAISEI KOGYO CO., LTD.
CASTEM 株式会社キャステム
JUKI JUKI会津株式会社
TEIBOW COMPANY ,LTD
TOKO TSUSHO CORPORATION 株式会社 東光通商
otc
PACIFIC SOWA CORPORATION
Repton IMAE Industries,Ltd.
Nakahara Precision 中原精密株式会社

sponsored by FINESINTER

会議スケジュール

秋季総会
11 月 21 日 KKR ホテル

常任理事会
7 月 19 日　工業会会議室
9 月 4 日　工業会会議室

常設委員会・部会

業務委員会
8 月 19 日　工業会会議室

総務部会
8 月 19 日　工業会会議室

広報部会
8 月 19 日　工業会会議室

焼結機械部品技術委員会
9 月 17 日　工業会会議室

プレス技術委員会
9 月 27 日　工業会会議室

原料粉末技術委員会
7 月 17 日　工業会会議室

射出成形粉末冶金委員会
8 月 8 日　工業会会議室

マーケティング委員会
9 月 20 日　工業会会議室

国際規格委員会
10 月 20 日 工業会会議室

その他委員会

新規 PJ 委員会
8 月 26 日　工業会会議室

WORLD PM2024 委員会（部会）

運営委員会
7 月 25 日　工業会会議室

第 1 部会（広報）
7 月 24 日　Hybrid 会議

第 2 部会
9 月 5 日　工業会会議室

第 3 部会（会場・登録・宿泊・ツアー）
8 月 6 日　工業会会議室

第 4 部会（展示）
8 月 7 日　Hybrid 会議

第 3 回粉末冶金基本講座（Web 開催）

対象：会員

本講座は、広報部会主催で粉末冶金産業における人材育成を目的に 2022 年度から開設した講座です。

講座は昨年同様下記、2 コース制です。

■開催日程

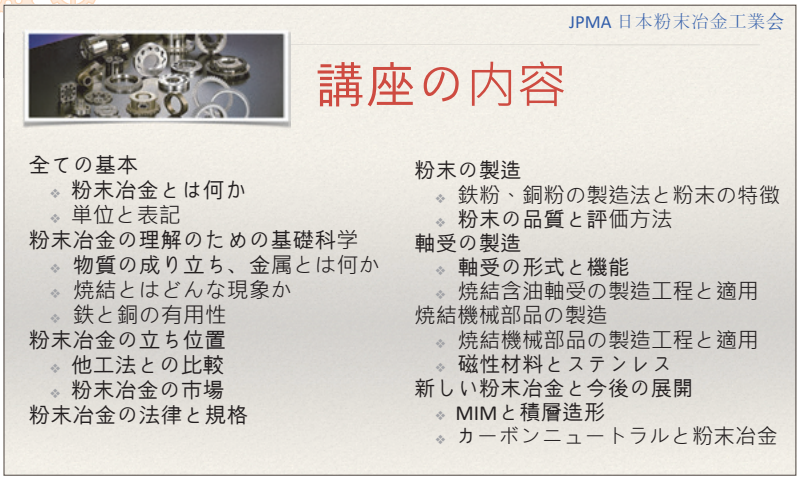
Aコース（基本講座）：9月 10日、17日

Bコース（入門講座）：9月 10日

■講師

藤長政志氏（当会OBネットワーク）

■講座の目的



さまざまな粉末冶金の基礎に関する講座がありますが、聴講対象者は大学などで金属や物質の成り立ちについて知識を有している方が前提の内容でした。

本講座は、そのような講座を受講して理解するために必要な、基礎知識を提供すると同時に、それらの講座が扱わない、粉末冶金の業務を実践する上で有用な実務上の知識と、仕事の幅を広げるための教養を身につけていただく事を目的としています。

粉末冶金の基礎知識、情報習得には最適な講座であり、製品製造メーカー以外の原料、設備、商社の方でも理解いただける内容です。受講案内詳細は 7 月に会員連絡担当者宛にご案内いたします。

委員会の動き

常任理事会

4 月 10 日　工業会会議室

(1) 2023 年度収支・2024 年度予算の承認。
(2) 2024 ～ 2025 年度役員等の選任案の承認。
(3) 各委員会委員長､工業会賞選考委員委嘱の承認。
(4) 定時総会段取りの承認。
(5) 工業会賞特別セッション段取りの確認。
(4) 2024 年度工業会賞応募要件の承認。
(5) 常任理事会・歓送迎会実施方針の承認。
(6) 第 2 回組織委員会開催の承認。
(7) 秋季総会実施方針の承認。
(8) 日本自動車部品工業会と素形材団体懇談会の報告。
(9) 粉末冶金技術イノベーションプロジェクトの審議。

常設委員会・部会

業務委員会

7 月 4 日　工業会会議室

(1) 優良従業員表彰実施方針の審議。
(2) 秋季総会開催方針の審議。
(3) コンプライアンス監査結果の報告。
(4) 新年賀詞交歓会開催方針の審議。
(5) 粉末冶金交流会開催方針の審議。
(6) LCA セミナー開催方針の審議。
(7) 主要行事日程更新の確認。

総務部会

7 月 4 日　工業会会議室

(1) 優良従業員表彰実施方針の審議。
(2) 秋季総会開催方針の審議。
(3) コンプライアンス監査結果の報告。
(4) 新年賀詞交歓会開催方針の審議。
(5) 粉末冶金交流会開催方針の審議。
(6) LCA セミナー開催方針の審議。
(7) 主要行事日程更新の確認。
(8) 粉末冶金技術イノベーションプロジェクト方針の審議。
(9) 常任理事会歓送迎会の確認。

広報部会

7 月 4 日　工業会会議室

(1) 「VA 事例」、「電動車搭載、電動化・CN 関連製品」の HP 掲載の案件確認と審議。
(2) 人材育成セミナーの段取りと申込進捗の確認。
(3) 粉末冶金基本講座の開催内容の審議。
(4) LCA セミナー実施方針の審議。

焼結機械部品技術委員会

6 月 11 日　工業会会議室

(1) 粗さ測定に関する論文発表内容の報告及び付加情報について意見交換を実施。
(2) 理想の焼結工場に関する論文発表内容の報告及び付加情報について意見交換を実施。

軸受部会

5 月 15 日　工業会会議室

(1) 満充てん率とりまとめ方針の決定。
(2) 新規 PJ 活動について意見交換を実施。

プレス技術委員会

6 月 14 日 工業会会議室

(1) トラブル事例について製品メーカーから紹介。
(2) プレスの構造や機能についてプレスメーカーから紹介。
(3) 新規 PJ 活動「ポンプ運転時間の積算」、「仕様面でオーバースペック削減」について意見交換を実施。
(4) 新規 PJ 活動内容のとりまとめ方法について意見交換を実施。

原料粉末技術委員会

4 月 12 日　工業会会議室

(1) ISO 投票方針の決定。
(2) ISO13517 規格化方針の決定及び ISO 会議への対応を決定。
(3) 粉末の充てん性に関する WORLD PM2024 発表内容について意見交換を実施。
(4) 原料粉版－環境自主行動計画調査の実現性について意見交換を実施。
(5) 新規 PJ 活動関連情報紹介
「DOWA エレクトロニクス･CN への取り組み」
「三菱製鋼・CN に向けて」

射出成形粉末冶金委員会

4 月 20 日　Hybrid 会議

(1) ISO 投票方針の決定。

(2) MIM 講習会初級編開催の決定。
(3) WORLD PM2024 共同展示準備状況の確認。
(4) WORLD PM2024SIS 発表内容及び情報提供協力の確認。
(5) EU－LCA 活動対応について意見交換を実施。

マーケティング委員会

5 月 27 日　Web 会議
(1) 2024 年度マーケティング委員会委員構成の確認。
(2) マーケティング委員会活動計画(改訂版)の承認。
(3) マーケティング委員会活動計画の進め方の決定。

国際規格委員会

5 月 14 日　Hybrid 会議
(1) 2024 － 2025 年度委員会構成の確認。
(2) 2024 年 ISO/TC119 会議（横浜）役割分担の確認。
(3) ISO 投票案件、活動状況について報告。
(4) GPMD 活用方法について利用ユーザーへの利用状況の調査実施を決定。

その他委員会

WORLD PM2024 MIM 共同展示打合せ会

5 月 9 日　Web 会議
(1) 装飾デザインの最終確認を実施。
(2) 出展に関する不明点、相談事項の確認。
(3) 出展者配置方針の決定。
(4) 装飾費用負担の承認。

TC119/SC5　SMC 規格打合せ（原料粉末技術委員会）

6 月 26 日　Web 会議
(1) ISO 関係者事前会議結果報告。
(2) 会議結果に基づき日本意見集約を実施。

WORLD PM2024 委員会（部会）

第 2 回組織委員会

6 月 6 日　生産開発科学研究所会議室
(1) 組織委員会構成確認
(2) 会議準備経過報告
(3) 主要プログラム概要確認
(4) 大綱修正予算の確認

第 2 部会（行事・接遇）

4 月 11 日 Hybrid 会議
(1) 開会式アトラクション一部実施内容の変更を決定。
(2) Welcome Reception 会場レイアウトを仮決定。
(3) Congress Party の会場レイアウト及びアトラクション実施内容を確認。
(4) Party メニューの決定。
(5) Welcome Reception 及び Congress Party の司会者決定。

6 月 20 日工業会会議室
(1) Social Event 実施内容（進行、レイアウト、アトラクション、メニュー等）の確認。
(2) Coffee break の設置場所、提供飲物の決定。
(3) 当日要員配置の決定。

第 4 部会（展示）

5 月 13 日　Hybrid 会議
(1) 出展申込状況確認及び募集期限以降の対応の決定。
(2) 出展レイアウト案の確認。
(3) レンタル備品、出展マニュアルの精査。
(4) 展示会招待状作成方針の決定。

工業会賞受賞記念特別セッション

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

5 月 21 日から 23 日まで東京工業大学すずかけ台キャンパスで粉体粉末冶金協会の 2024 年度春季大会（第 133 回講演大会）が開催され、初日の 21 日に「日本粉末冶金工業会賞受賞記念特別セッション」を行いました。

本セッションは、協会と当会の連携強化の一貫として平成 8 年度春季大会から協会のご協力を得て毎年、実施しています。

当日は、初めに 2023 年度工業会賞選考委員会委員長の菊池正史氏

【菊池常任理事】

【セッション会場】

（ポーライト・代表取締役社長）から挨拶がなされ、続いて座長の町田知誉氏（2023 年度工業会賞選考委員長代行）の進行により 2023 年度受賞製品 7 件の発表が行われました。

昨年同様、対面開催となった本セッションは、協会春季大会参加者に加え、招待のユーザー、会員など多くの方に参加いただき、活発な質疑応答がなされました。

なお、受賞製品の概要は、協会のご協力により、協会誌『粉体および粉末冶金』の Vol.71、No. 4 に掲載いただきました。

2024 年度　定時総会

対象：会員

5 月 24 日、東京都港区「機械振興会館」において理事会及び定時総会を開催しました。

理事会､定時総会（前半）は伊井会長が議長として議事を進行しました。

冒頭、経済産業省素形材産業室室長代理 南崎義徳氏から「素形材産業を巡る状況と政策動向」と題し、概略説明及びご挨拶をいただきました。

【南崎室長補佐】

1. 理事会

(1) 第 1 号議案「2023 年度事業報告」、第 2 号議案「2023 年度収支決算報告」

両議案を一括審議。専務理事から資料により事業報告を説明、また収支決算については PM 記念基金特別会計収支決算を含め説明。次いで、清水監事から 4 月 18 日に実施の監査報告がなされました。

審議の結果、両議案とも承認されました。

(2) 第 3 号議案「2024 年度事業計画」、第 4 号議案「2024 年度予算」

両議案を一括審議。専務理事から資料により事業計画及び予算を説明。事業計画は「粉末冶金産業ビジョン」のアクションプランとの関連も含め説明。予算は工業会事業運営上、最低限必要な資金を確保するため、通常会費（前年度は会費 10%減）する旨も説明。

審議の結果、両議案とも承認されました。

2. 定時総会

(1) 第 1 号議案「2022 年度事業報告」、第 2 号議案「2022 年度収支決算報告」

理事会で承認された両議案を一括上程、異議なく承認されました。

(2) 第 3 号議案「役員の選任」

任期満了に伴う 2024-2026 年度の理事及び監事の選任を行ない、監事　は森靖氏（日本アトマイズ加工）の退任に伴う後任監事に小川典宏氏（大同特殊鋼）、他は留任とする案が承認され、次いで理事の中から､新会長に園田修三氏（福田金属箔粉工業）が全会一致で選任されました。

【総会会場】

ここで、伊井前会長及び園田新会長からそれぞれ挨拶がなされました。この後、園田新会長が議長となり、以降の審議が進められました。

新会長から常任理事、専務理事、顧問、評議員の委嘱案が提示され、案通りに承認されました。

(3) 第 4 号議案「2023 年度事業計画」、第 5 号議案「2023 年予算」

理事会で承認された両議案を一括上程、異議なく承認されました。

以上をもって、すべての議事を終了し引き続き、新旧役員（4 名）のご挨拶及び総会初出席者（8 名）に挨拶いただきました。

3. 講演会

総会終業後、公認会計士・エネルギー管理士・気象予報士吉川武文氏（ダイヤメット）から「本気の脱炭素経営で、価格高騰と戦おう！」と題し、企業が脱酸素に取組むべき対応として「会計」、「コスト」を中心にご講演をいただきました。講演終了後、企業が取り組むべき共通課題である脱酸素に関するテーマについて参加者から高い関心が寄せられ、活発な質疑が行われました。

次いで、懇親会を開催しました。経済産業省素形材産業室のご出席をいただくなか、粉末冶金業界の会員皆様方和気藹々と歓談され、閉会となりました。今回の総会・懇親会出席者は 68 名、うち会員は 21 社 57 名。

【講演：吉川武文氏】

焼結機械部品技術委員会工場見学「中外炉工業株式会社」

対象：焼結機械部品技術委員会委員

焼結機械部品技術委員会は、新規 PJ 活動の一環として、プレス成形における CO_2 発生量の割合が大きい焼結、熱処理工程の CN に関する情報収集を目的に、5 月 28 日熱処理炉、プラント、各種機器、設備、装置及び各種サービスを提供する中外炉工業株式会社堺事業所（大阪府堺市）を見学しました。

見学には委員会委員 6 名、事務局 1 名、総勢 7 名が参加しました。

見学は CN 実現に向けた対応として各研究・開発拠点を 2023 年 11 月に統合した熱技術創造研究所を見学し、会議室で同社の脱炭素への取組み及び焼結設備について説明いただきました。

○ 熱技術創造研究所見学

熱技術創造研究所は熱技術創造センター、ゼロエミッション研究所、真空浸炭研究所、熱処理研究所を見学し、施設毎に脱酸素を目指した開発設備の紹介をいただきました。特に CO_2 を排出しない水素、アンモニア燃焼に関する研究・開発が進められていました。

○「熱処理炉における脱炭素社会に向けての取組み」紹介

会議室において中外炉工業殿が推進する「熱技術を核として新しい価値を創造する」経営理念に基づき、「省エネ技術」、「水素バーナ」及び「ガス焚き炉の電熱化」について詳細に説明をいただきました。

本見学で得られた情報を来る 10 月に開催される WORLD PM2024 において同委員会委員・加藤氏（ダイヤメット）から発表する「2025 年理想の焼結工場」と題した論文発表に盛り込む予定です。

第 12 回人材育成セミナー「ムダ取り改善」開催

対象：会員

広報部会主催の第 12 回人材育成セミナーは、「ムダ取り改善」をテーマに 7 月 5 日、機械振興会館で開催しました。冒頭に、増本広報部会長から開催の趣旨説明と挨拶があり、セミナーが開始されました。今回は、「ムダ取り改善」の知識を学び、実際に活用するための手法の習得を目的として開催しました。

参加者は、若手の方々を中心に 10 社 20 名と広報部会委員 7 名、工業会事務局 2 名の合計 29 名。

講師は、㈱ RK コンサルティング 代表取締役　丹澤一昭氏にご登壇いただきました。

【グループ演習の様子】

ムダ取り改善の知識については、ムダ取りと収益向上のしくみ、お金を生む作業と生まない作業、ムダの種類、改善技術（ECRS・動作経済の原則など）の講義があり、今後、会社での職場での活用方法などの講義がありました。

実際に実施する手法の習得については、受講者は 6 つのグループに分かれて、演習問題（3 テーマ）を協同で討議し、まとめを行い、各グループから発表を行いました。

演習のうちの一つを紹介します。「生産効率が悪い部品製造業 A 社は、「人－機械分析」と「レイアウト分析」を実施し現状の連合作業状況を分析図表にまとめた。この「連合作業分析表」や「レイアウト調査資料」を活用して作業改善案を立案すること」という課題に取り組み、作業の問題点を抽出、整理し、どのような改善策が有効かを提案する演習を行いました。

修了後のアンケートでは「満足・やや満足」の方が 100% を占め、感想として「会社の利益につなげるために、現状作業の見直しを様々な角度から見て工夫する大切さを学んだ。」「ムダ取りの手法だけでなく、限られた時間内で最適な方法を得るためのワークや時間・人員配分など実践的に学ぶことができた。」「今後の業務に活用できる。実際に自分達で考えるのがとても良いと思った。」「24h の製造業なので、少しのムダも積み重ねで大きな損失となる事も多い。今回のセミナーの事例を参考に改善を進めたい。」など、好評なコメントが多く寄せられました。

広報部会では将来の業界発展を担う若い世代の成長に寄与するセミナーを企画し、効果の期待できる人材育成プログラムを今後も鋭意検討していく所存です。

【人材育成セミナー出席者】

2023 年度 焼結品需要構造調査結果

当会業務委員会では、粉末冶金製品の需要構造を的確に捉え、今後の市場開拓の参考にするため 1980 年度から「焼結品需要構造調査」を実施しています。

2023 年度の集計結果がまとまりましたので、詳細は会員向け発送資料（6 月 28 日付）をご覧下さい。本紙には、集計結果表のみを掲載いたします。

表 1　焼結機械部品（2023 年度）

需要先機械別			生産量(t)	前年度比(%)	構成比(%)
輸送機械用	自動車	四輪車	60,346	101.5	92.9
		二輪車	780	94.3	1.2
		小計	61,126	101.4	94.1
	その他		290	103.2	0.4
	計		61,416	101.4	94.5
産業機械用	建設機械		1,282	80.9	2.0
	汎用エンジン		400	93.4	0.6
	油圧機械		207	46.8	0.3
	農業機械		159	88.5	0.2
	工作機械		145	58.0	0.2
	事務機械		64	87.9	0.1
	その他		171	85.7	0.3
	計		2,428	76.9	3.7
電気機械用	エアコンディショナー		407	85.6	0.6
	電動工具		26	85.3	0.0
	マイクロモータ		48	227.9	0.1
	コンピュータ周辺機器		6	100.0	0.0
	電気冷蔵庫		17	85.0	0.0
	ステッピングモータ		3	116.0	0.0
	通信機器		2	120.0	0.0
	換気扇		3	127.0	0.0
	その他		143	78.6	0.2
	計		655	88.3	1.0
その他用計			488	100.6	0.8
合計			64,987	100.0	100.0

表 2　焼結軸受合金（2023 年度）

需要先機械別			生産量(t)	前年度比(%)	構成比(%)
輸送機械用	自動車	四輪車	3,055	98.8	72.8
		二輪車	262	157.1	6.3
		小計	3,317	101.9	79.0
	その他		6	31.6	0.1
	計		3,323	101.5	79.2
産業機械用	建設機械		227	95.6	5.4
	事務機械		94	72.1	2.2
	汎用エンジン		13	102.2	0.3
	農業機械		17	92.5	0.4
	その他		51	100.5	1.2
	計		402	89.4	9.6
電気機械用	コンピュータ周辺機器		115	98.3	2.7
	マイクロモータ		44	100.4	1.1
	電気冷蔵庫		45	90.0	1.1
	電動工具		37	95.6	0.9
	ステッピングモータ		52	121.5	1.2
	電気洗濯機		27	98.1	0.6
	音響機器		28	99.1	0.7
	家庭用 VTR		24	98.4	0.6
	エアコンディショナー		20	88.6	0.5
	換気扇		15	88.0	0.4
	その他		59	94.7	1.4
	計		466	98.2	11.1
その他用計			6	77.9	0.1
合計			4,198	99.8	100.0

表 3　粉末冶金用原料粉出荷量（2023 年度）

納入先系統別			出荷量(t)			前年度比(%)		構成比(%)		
			2021 年度	2022 年度	2023 年度	2022 年度	2023 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
鉄粉	内製向け	自動車関係	9,733	8,784	7,413	90.3	84.4	10.0	10.1	9.7
		その他	60	—	—	—	—	0.1	0.0	0.0
		計	9,793	8,784	7,413	89.7	84.4	10.1	10.1	9.7
	外販企業向け		87,605	77,972	69,226	89.0	88.8	89.9	89.9	90.3
	合計		97,398	86,756	76,640	89.1	88.3	100.0	100.0	100.0
銅粉	内製向け	自動車関係	140	1	1	0.9	83.3	3.0	0.0	0.0
		その他	15	—	—	—	—	0.3	—	—
		計	155	1	1	0.8	83.3	3.4	0.0	0.0
	外販企業向け		4,482	3,795	3,570	84.7	94.1	96.6	100.0	100.0
	合計		4,638	3,796	3,571	81.9	94.1	100.0	100.0	100.0
ステンレス鋼粉			2,999	2,754	1,545	91.8	56.1	—	—	—
MIM用原料粉			527	469	329	89.0	70.1	—	—	—

工業会統計

年　月	粉末冶金製品生産金額（百万円）							原料粉出荷量（トン）	
	軸受合金	機械部品	摩擦材料	電気接点	集電材料	その他	合　計	鉄　粉	銅　粉
2019 年度 ｝月平均	1,285	9,479	475	3	123	333	11,698	9,008	351
2020 〃 ｝月平均	1,179	7,854	432	1	133	334	9,934	7,107	326
2021 〃 ｝月平均	1,415	8,904	635	3	132	453	11,543	8,070	374
2022 〃 ｝月平均	1,252	8,247	676	2	149	453	10,779	7,193	302
2023 〃 ｝月平均	1,342	8,553	617	2	140	449	11,103	6,346	289
前年度比	107	104	91	73	94	99	103	88	96
2023 年　5月	1,123	7,551	630	1	138	464	9,907	4,927	249
6月	1,343	8,903	708	2	147	493	11,595	7,135	298
7月	1,409	8,847	633	0	154	440	11,483	7,036	319
8月	1,237	7,624	527	3	153	415	9,959	5,654	240
9月	1,478	9,468	604	2	155	455	12,162	7,415	274
10月	1,468	9,359	634	2	147	471	12,081	6,528	302
11月	1,506	9,443	623	2	140	497	12,211	7,519	304
12月	1,399	8,749	552	2	110	441	11,253	6,184	280
2024 年　1月	1,234	7,665	591	2	146	389	10,027	5,437	273
2月	1,306	8,124	581	0	109	414	10,534	6,414	326
3月	1,378	8,530	627	1	132	403	11,071	6,435	332
4月	1,330	7,826	746	1	193	450	10,547	5,602	283
5月	1,322	7,711	768	1	179	435	10,416	5,323	271
前年同月比	118	102	122	128	130	94	105	108	109

（注 1）「その他」は磁性材料硬質も含む。　（注 2）生産金額は消費税を含む。
（注 3）前年比・前年同月比は同一企業数で計算。　（注 4）前年度比、前年同月比は消費税抜きの金額で比較。

暑中お見舞い申し上げます

株式会社モック
代表取締役　大　塚　政　義
所在地：大阪府寝屋川市仁和寺本町 3-3-1
ＵＲＬ：www.mokc.jp

株式会社ニューメタルス・エンド・ケミカルス・コーポレーション
代表取締役社長　植　元　淑　雄
所在地：東京都中央区京橋 1-2-5 京橋 TD ビル
ＵＲＬ：www.newmetals.co.jp/

トーホーテック株式会社
代表取締役社長　松　原　　浩
所在地：神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-3-5
ＵＲＬ：www.tohotec.co.jp

株式会社中央発明研究所
代表取締役社長　曽　我　夏　人
所在地：東京都西多摩郡瑞穂町二本木 539
ＵＲＬ：www. chuhatsu.co.jp/

大洋商事株式会社
代表取締役社長　北　代　広　明
所在地：東京都中央区新富 2-15-5
ＵＲＬ：www.taiyoshoji.co.jp

JX 金属商事株式会社
代表取締役社長　六　信　　厚
所在地：東京都新宿区荒木町 13-4
住友不動産四谷ビル 6 階
ＵＲＬ：www.jx-kinzokushoji.com/

暑中お見舞い申し上げます

佐久間特殊鋼株式会社

代表取締役社長 執行役員 佐久間 崇透

所在地：名古屋市緑区浦里 5-250
ＵＲＬ：www.sakuma-ss.co.jp/

Ipsen 株式会社

代表取締役社長 星野 雅志

所在地：大阪市鶴見区安田 2-3-2
ＵＲＬ：www.ipsenglobal.com

株式会社アドテックエンジニアリング

代表取締役社長 竹田 幸一郎

所在地：東京都港区虎ノ門 2-3-17
虎ノ門２丁目タワー８階
ＵＲＬ：www.adtec.com/

菅原精機株式会社

代表取締役 菅原 尚也

所在地：京都市山科区椥辻西潰町 14
ＵＲＬ：www.k-sugawara.co.jp

三起精工株式会社

代表取締役 大関 敏也
取締役 営業部長 鶴渕 道宏

所在地：栃木県足利市県町 890-4
ＵＲＬ：www.sanki-seiko.co.jp

小林工業株式会社

代表取締役社長 小林 憲一郎

所在地：秋田県由利本荘市石脇字赤ハゲ 1-372
ＵＲＬ：www.kobayashi-akita.co.jp

株式会社ヤマザキ電機

代表取締役 吉田 和夫

所在地：埼玉県坂戸市小山 123
ＵＲＬ：www.yamazaki-denki.co.jp

三菱マテリアルテクノ株式会社

取締役 営業部門長 松島 健文

所在地：東京都台東区台東 1-30-7
秋葉原アイマークビル
ＵＲＬ：www.mmtec.co.jp/

株式会社タナカカメ

代表取締役社長 田中 俊成

所在地：大阪府枚方市招提田近 1-3
ＵＲＬ：www.came.co.jp

太陽金網株式会社

代表取締役社長 平井 裕晃

所在地：大阪市中央区南船場 1-11-7
ＵＲＬ：www.twc-net.co.jp/

コータキ精機株式会社

代表取締役社長 小黒 二郎

所在地：静岡県駿東郡長泉町下長窪 1032
ＵＲＬ：www.kohtaki.co.jp

三菱製鋼株式会社

執行役員 素形材事業部長 深澤 秀一

所在地：東京都中央区月島 4-16-13
ＵＲＬ：www.mitsubishisteel.co.jp/

暑中お見舞い申し上げます

ヘガネスジャパン株式会社

代表取締役社長 片 野 唱 栄

所在地：東京都千代田区大手町 2-6-4
TOKYO TORCH 常盤橋タワー 915 区
ＵＲＬ：www.hoganas.com/ja/

福田金属箔粉工業株式会社

代表取締役会長 福 田 健
代表取締役社長 園 田 修 三

所在地：京都府京都市山科区西野山中臣町 20
ＵＲＬ：www.fukuda-kyoto.co.jp

日本アトマイズ加工株式会社

取 締 役 会 長 坂 東 二 郎

所在地：千葉県野田市西三ケ尾 87-16
ＵＲＬ：www.atomize.co.jp/

DOWA IP クリエイション株式会社

代表取締役社長 宮 﨑 達 郎

所在地：岡山県岡山市南区築港栄町 7
ＵＲＬ：www.dowa-ip.co.jp/

DOWA エレクトロニクス株式会社

機能材料事業部長 吉 田 貴 行

所在地：千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX ビル
ＵＲＬ：www.dowa-electronics.co.jp/index.html

大同特殊鋼株式会社

常務執行役員 杉 江 郁 夫

所在地：東京都港区港南 1-6-35
ＵＲＬ：www.daido.co.jp

JFE スチール株式会社

鉄粉セクター副セクター長 宇 波 繁

所在地：東京都千代田区内幸町 2-2-3
ＵＲＬ：www.jfe-steel.co.jp

株式会社神戸製鋼所

素形材事業部門鉄粉ユニット長 二 村 敏

所在地：東京都品川区北品川 5-9-12
ＵＲＬ：www.kobelco.co.jp/

エプソンアトミックス株式会社

代表取締役社長 大 塚 勇

所在地：青森県八戸市大字河原木字海岸 4-44
ＵＲＬ：www.atmix.co.jp/

三井金属ダイカスト株式会社

代表取締役社長 陣 内 誠 司

所在地：山梨県韮崎市大草町下條西割 1200
ＵＲＬ：www.mitsui-kinzoku.co.jp/project/diecast

ポーライト株式会社

代表取締役社長 菊 池 正 史

所在地：埼玉県さいたま市北区日進町 2-121
ＵＲＬ：www.porite.co.jp/

フクイシンター株式会社

代 表 取 締 役 西 村 政 芳

所在地：福島県須賀川市虹の台 27-1

暑中お見舞い申し上げます

株式会社ファインシンター

代表取締役社長　山　口　登士也

所在地：愛知県春日井市明知町西之洞 1189-11
ＵＲＬ：www.fine-sinter.com

日本ピストンリング株式会社

執　行　役　員　蓮　見　良　介

所在地：埼玉県さいたま市中央区本町東 5-12-10
ＵＲＬ：www.npr.co.jp

ナパック株式会社

代表取締役社長　鈴　木　　隆

所在地：長野県駒ヶ根市赤穂 14-1823
ＵＲＬ：www.napac.co.jp

株式会社ダイヤメット

代表取締役社長　伊　井　　浩

所在地：新潟県新潟市東区小金町 3-1-1
ＵＲＬ：www.diamet.co.jp/

住友電気工業株式会社

焼結製品事業部長　井　上　慎太郎

所在地：兵庫県伊丹市昆陽北 1-1-1
ＵＲＬ：sumitomoelectric.com/jp/products/sintering

株式会社キャステム

代　表　取　締　役　戸　田　拓　夫

所在地：広島県福山市御幸町中津原 1808-1
ＵＲＬ：www.castem.co.jp

大阪冶金興業株式会社

代　表　取　締　役　寺　内　俊太郎

所在地：大阪市東淀川区瑞光 4-4-28
ＵＲＬ：www.osakayakin.co.jp/

NTN アドバンストマテリアルズ株式会社

代表取締役社長　武　田　　毅

所在地：愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字勝田場 101
ＵＲＬ：www.ntn-amc.com/

岩機ダイカスト工業株式会社

代表取締役社長　齋　藤　明　彦

所在地：宮城県亘理郡山元町鷲足字山崎 51-2
ＵＲＬ：www.iwakidc.co.jp/

一般社団法人粉体粉末冶金協会

会　　長　尾　﨑　由紀子

所在地：京都市左京区下鴨森本町 15
　　生産開発科学研究所内
ＵＲＬ：www.jspm.or.jp/

日本粉末冶金工業会

専　務　理　事　植　月　義　夫

所在地：東京都台東区台東 3-42-7
　　松田商事ビル 6 階
ＵＲＬ：www.jpma.gr.jp